

産業振興・地域活性化	
企業立地促進・雇用促進奨励金、企業立地促進利子助成金	4億8,474万円
中山間地域等直接支払交付金	2億2,135万円
多面的機能支払交付金	1億7,793万円
つやま産業支援センター事業	8,830万円
農作物鳥獣害防止対策・有害鳥獣駆除事業	6,475万円
IJUトータルサポート事業	2,946万円
DMO観光まちづくり推進事業	1,628万円
まちなか再生支援事業	1,050万円
津山の歴史資源発信活用事業	892万円
低炭素都市つやまスマートエネルギー導入支援事業	523万円
つやま和牛ブランド化事業	376万円

歴史・芸術文化	
郷土博物館耐震化及び展示リニューアル事業	1億2,405万円
苅田家町家群整備事業	1億1,795万円
津山城跡保存整備事業	5,605万円
重要伝統的建造物群保存事業	4,350万円
美作国分寺跡保存整備事業	2,279万円

災害復旧（平成30年7月豪雨関連）	
農林施設災害復旧事業	8億2,199万円
土木施設災害復旧事業	6億4,713万円

その他	
消防団施設・装備整備事業	7,436万円

令和元年度の主な事業

地域材利用促進事業 4,930万円

林業の振興と地域経済の活性化を進めるため、地域材を使って住宅を新築やリフォームした人への補助金制度を拡充しました。



津山文化センター施設整備事業 10億6,361万円

元々のデザインを引き継いだ耐震化・内外装の改修を行い、施設の機能と利便性の向上を図りました。



庁舎耐震化事業（加茂支所） 8,778万円

老朽化と耐震化に対応するため、加茂支所の庁舎を、加茂町公民館との複合施設として新たに整備しました。



地域子育て支援センター事業 2,398万円

親子・保護者同士の交流の場の提供、育児相談などを行う地域子育て支援センターを、市立幼稚園2園に新たに開設しました。



妊婦等健康診査事業 9,274万円

妊娠中、出産後の健康診査に掛かる費用助成の対象に、「産後うつ」に対応した産婦健康診査が新たに加わりました。



ごんごバス車両更新事業 5,883万円

コミュニティバス「ごんごバス」の東循環線で運行する車両3台を更新しました。



生活・教育支援	
児童手当	16億3,071万円
生活保護費	15億1,343万円
小・中学校施設整備事業	11億7,323万円
子ども医療費公費負担事業	4億6,577万円
幼稚園再構築施設整備事業	3億9,014万円
放課後児童健全育成事業	3億 325万円
社会資本整備総合交付金事業（交通安全対策事業）	2億 390万円
社会資本整備総合交付金事業（橋りょう新設改良事業）	1億9,446万円
プレミアム付商品券事業	1億8,918万円
総社川崎線整備事業（山北工区）	1億8,723万円
（沼-林田工区）	1億3,900万円
公民館施設整備事業	7,714万円
まちなか子育て支援拠点事業	4,326万円
不妊不育治療支援事業	929万円

地域公共交通	
地方バス路線運行維持費補助金	7,727万円
ごんごバス運行補助金	2,870万円
支所間バス運行補助金	1,850万円

ごみ対策	
津山圏域資源循環施設組合負担金	8億2,961万円
家庭ごみ等収集運搬事業	3億1,512万円

企業会計

令和元年度企業会計別決算額	会計名		歳入	歳出
	水道事業	収益的収支	33億1,776万円	28億5,857万円
	資本的収支	8億9,746万円	18億6,938万円	
工業用水道事業	収益的収支	2,941万円	1,876万円	
	資本的収支	0円	2,289万円	
下水道事業	収益的収支	35億6,289万円	33億4,228万円	
	資本的収支	25億7,772万円	39億3,463万円	

企業会計とは、独立採算による特定の事業を管理する会計です。企業会計方式のため、資本的支出の不足額は、内部留保資金などで補てんしています。

特別会計

令和元年度特別会計別決算額	会計名		歳入	歳出
	介護保険		104億 61万円	102億7,271万円
国民健康保険		99億2,625万円	98億3,794万円	
土地開発公社清算事業		35億 40万円	35億 40万円	
後期高齢者医療		13億3,099万円	13億2,952万円	
食肉処理センター		7,705万円	7,705万円	
奨学金		804万円	754万円	
磯野計記念奨学金		618万円	0万円	
公共用地取得事業		108万円	108万円	

特別会計とは、特定の収入を特定の事業支出に充てるため、一般会計とは経理を切り離した会計です。